

「学生と授業改善について考えるアンケート」

報告書

2017 年度

日本女子大学

目 次

I.	学部F D委員会より	1
II.	実施概要	2
	(1) 実施要綱	
	(2) 質問項目	
	(3) 実施科目	
	(4) 実施方法・実施期間	
	(5) 授業アンケートのフィードバック	
III.	集計結果（2017年度前期）	6
	2017年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）	
IV.	集計結果（2017年度後期）	8
	2017年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）	

I. 学部 FD 委員会より

本報告書は、2017 年度に実施した「学生と授業改善について考えるアンケート」の集計結果の資料である。学部 FD 委員会の検討により、アンケートの抜本的な改革が行われ、2015 年度より実施対象科目を基盤教育の科目群(A 科目群)と専門教育の科目群(B 科目群)に分けて隔年で実施している。2017 年度は、基盤教育の科目群(A 科目群)を対象にアンケートを行なった。アンケートの集計方法は、JASMINE-Navi のアンケート機能を使用する 2015 年度の後期から行われている方法を踏襲した。JASMINE-Navi のアンケート機能を用いる電子化により、集計業務を大幅に効率化している。授業の担当教員に学生へのアナウンスを依頼し、学生はパソコンやスマートフォンを用いて無記名で回答を行なっている。

アンケートの回答率については、前期が 45.4%、後期が 34.7%と、昨年度の 36.4%と 31.0%よりも高い結果となった。しかし、依然として半数に満たない回答率のため、今後さらなる工夫が必要である。JASMINE-Navi のアンケート機能によるアンケートは集計処理の大幅な効率化や、授業時間以外にもアンケートの回答が可能である点、学生が回答した内容を確認することや修正することが可能であるなど様々な利点がある。しかし、従来のペーパー式のアンケートに比べて、回答率が下がってしまうことが課題である。

アンケートの結果は、授業の担当教員にお知らせしている。また、教員から学生へのコメントという形でのフィードバックをお願いしている。さらに、授業を管轄する委員会にもアンケート結果をお知らせして、結果の分析や授業の改善策など所見のフィードバックを頂いている。アンケート結果を授業の改善に役立てるために、アンケートの回答率を上げることはもちろん、アンケート内容やフィードバック方法の継続的な検討が必要である。

2018 年度学部 F D 委員会

委員長 上田 実希

II. 実施概要

(1) 実施要綱

2017(平成29)年度「学生と授業改善について考えるアンケート」実施要綱

2017(平成29)年2月 学部FD委員会

1. 趣旨・目的

日本女子大学則第2条に規定する自己点検・評価の一環として「学生と授業改善について考えるアンケート」(以下「授業アンケート」という。)を実施する。

授業内容、教員と学生双方の授業姿勢・意識並びに取り組み、学生の授業に対する達成度・満足度について、履修した学生の意見を広く聴取し、その結果を、授業改善に生かすこと、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの組織的検証に資することを目的とする。

2. 対象科目

2015年度から2018年度までの期間、学部FD委員会標準科目として、以下のとおりA科目群とB科目群を定め、年度交代で実施する。2017(平成29)年度はA科目群で実施する。ただし、アンケートの匿名性担保のため、受講者数が5名以下の科目は実施しない。また、原則として集中授業を除く。

【A科目群(基盤教育)】

家政・文・理学部：基礎科目(外国語・情報処理・身体運動)、教養科目、家政学部共通科目、キャリア形成科目※

人間社会学部：学科教育科目の基本科目(外国語科目を含む)および展開科目、キャリア形成科目※

【B科目群(専門教育)】

家政・文・理学部：学科科目、キャリア形成科目※、教職に関する科目※、司書及び司書教諭に関する科目※

博物館に関する科目※、日本語教員養成講座に関する科目※

人間社会学部：学科教育科目の学科専門科目、キャリア形成科目※、教職に関する科目※、司書及び司書教諭に関する科目※

博物館に関する科目※、日本語教員養成講座に関する科目※

なお、授業を管轄する委員会または授業担当教員が学部FD委員会へ申し出た場合、毎年度実施することができる。

※管轄委員会の申し出により、キャリア形成科目は毎年度、資格関係科目は隔年で対象科目とする。なお、現代女性とキャリア連携専攻コア科目、外国人留学生科目・交換留学生科目については、実施希望年に管轄委員会より申し出る。

3. 実施時期

試験期間を除く学期末の3週間をあてる。2017(平成29)年度は以下のとおりとする。通年科目は後期に実施する。

【前期】2017(平成29)年7月8日(土)～7月28日(金)

【後期】2017(平成29)年12月19日(火)～2018(平成30)年1月22日(月)

4. 実施方法

JASMINE-Naviの「授業アンケート」機能を使用して実施する。学生はスマートフォン、タブレット、パソコン等でアクセスし、無記名で回答する(システム上、回答者は特定されない)。

回答率を上げるために、原則として授業時間内に回答時間を設定し実施する(所要時間は説明を含め10分程度)。

5. 質問項目

共通質問事項に加えて、以下のとおり個別質問を設ける。

【個別質問項目(A) 授業担当者個別】授業担当者が個別に設定可能(5問)

【個別質問項目(B) 授業科目区分共通】授業を管轄する委員会等で授業区分別に設定可能(8問)

6. 学生への周知

学生への趣旨・実施期間・実施方法などの周知は、掲示(電子掲示板、JASMINE-Naviの掲示情報)等により行う。

また、科目による実施の有無については、授業担当教員から学生に事前に通知する。

7. 集計結果

集計結果は以下のとおり扱い、組織的に有効活用する。

【集計結果速報】教員の結果参照日より、全体集計および授業科目区分別集計を教職員のページにより公表する。

【科目個別の結果】科目個別の結果は、授業担当教員本人のみが結果参照期間内にJASMINE-Naviにアクセスして参照することができる。ただし、授業担当教員の合意を得たうえで、授業を管轄する委員会等が、アンケートの趣旨・目的に沿って科目個別結果活用を希望する場合、学部FD委員会へ申し出ることにより科目個別の結果(自由記述を除く)を参照可能とする。

【学生へのフィードバック】科目個別の結果について、授業担当教員は、「学生へのコメント」の提出により学生へのフィードバックを行う。「学生へのコメント」は、集計結果(全体集計)と併せて、学生にJASMINE-Naviで公表する。

【授業を管轄する委員会へのフィードバック】集計結果について、学部FD委員会は、授業を管轄する委員会へフィードバックする。授業を管轄する委員会は、それを受けて、学部FD委員会へ所見を返すこととする。

【報告書】集計結果については次年度に報告書として公表する。授業科目区分別集計、授業担当教員の学生へのコメントおよび授業を管轄する委員会の所見は、学内に公表する。

なお、授業アンケートの結果は目的以外には使用しない。アンケートデータは匿名性が担保される形で扱われ、業務上の関連部署には守秘義務が課せられる。

以上

(2) 質問項目

2017前期)学生と授業改善について考えるアンケート

このアンケートは、学生と教員が協働してよりよい授業づくりを進めていくために、皆さんの声をお聞きしたいということを目的としておこないます。

■学科を選択してください。

- 児童 食物(食育) 食物(管理) 住居(全学生) 被服 家政経済 日本文 英文
 史学 現代社会 社会福祉 教育 心理 文化 数学科 物質生物科
 上記以外

■学年を選択してください。

(※科目等履修生などで学年がわからない場合は未記入でも可)

- 1 2 3 4

I. 授業内容について

1. シラバス(諸般概要)は受講に役立った。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

2. 各回の授業のねらいは明確であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

3. 授業の内容は分かりやすかった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

4. 各回の授業内容の量が適切であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

5. 授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

II. 教員の授業に対する姿勢・取り組みについて

1. 教員の授業に対する準備が適切であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

2. 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメ・プリントや参考文献が適切であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

III. あなた自身の授業に対する意識・取り組みについて

1. 授業中の静かさを保てるよう努力した。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

3. この授業の今までの欠席回数

- 0回 1回 2回 3回 4回以上

4. この授業の予習復習等、授業以外での学習に当てた時間(毎週の平均)。

- 4時間以上 3~4時間未満 2~3時間未満 1~2時間未満 1時間未満

5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

6. 学問的興味をかきたてられた。

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない 該当しない

7. この授業に対する達成度を示してください。

- 達成した やや達成した ふつう あまり達成していない 達成していない

8. この授業に対する満足度を示してください。

- 満足 やや満足 ふつう やや不満 不満

IV. 個別質問項目

※授業担当者より指示があった場合のみご回答ください。
各設問の内容は、授業担当者からの指示に従ってください。

Ⓐ 授業担当者個別

個別質問項目A-1

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目A-2

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目A-3

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目A-4

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目A-5

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

Ⓑ 授業科目区分共通

個別質問項目B-1

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目B-2

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目B-3

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目B-4

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目B-5

- 大いにそう思う そう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

個別質問項目B-6(最大200文字)

個別質問項目B-7(最大200文字)

個別質問項目B-8(最大200文字)

V. 自由記述

授業担当教員が読み、今後の授業の参考とします。授業について良かった点や改善してほしい点等を書いてください。(最大400文字)

ご協力ありがとうございました

回答

※後期…JASMINE-Navi「授業アンケート」機能を使用し、前期と同様の質問項目にて実施した。

(3) 実施科目

授業科目の区分（地区）	2017 前期実施		2017 後期実施	
	科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数	科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数
基礎科目（目白地区）	255 (57・198)	3,802	242 (45・197)	2,527
教養科目（目白地区）	46 (23・23)	1,651	34 (14・20)	1,009
家政学部共通（目白地区）	9 (7・2)	439	5 (4・1)	157
基本科目（西生田地区）	121 (51・70)	1,544	143 (52・91)	1,314
展開科目（西生田地区）	84 (41・43)	2,484	89 (47・42)	1,692
キャリア形成科目（両地区）	5 (0・5)	42	7 (0・7)	161
現代女性とキャリア連携専攻コア科目 (目白)	3 (0・3)	120	3 (0・3)	113
上記区分以外で希望により実施した科目 (両地区)	8 (7・1)	124	7 (6・1)	150
計	531 (186・345)	10,206	530 (168・362)	7,123
	前期回答率→	45.4%	後期回答率→	34.7%

(4) 実施方法・実施期間

JASMINE-Navi の「授業アンケート」機能により実施

前期 2017年 7月 8日（土）～ 7月 28日（金）※学生の回答期間を 7月 30日（日）迄延長

後期 2017年 12月 19日（火）～2018年 1月 22日（月）※学生の回答期間を 1月 28日（日）迄延長

(5) 授業アンケートのフィードバック

個別結果…授業担当者が JASMINE-Navi にて参照する。結果に対して、授業担当者は学生へのコメントを公表することが可能。

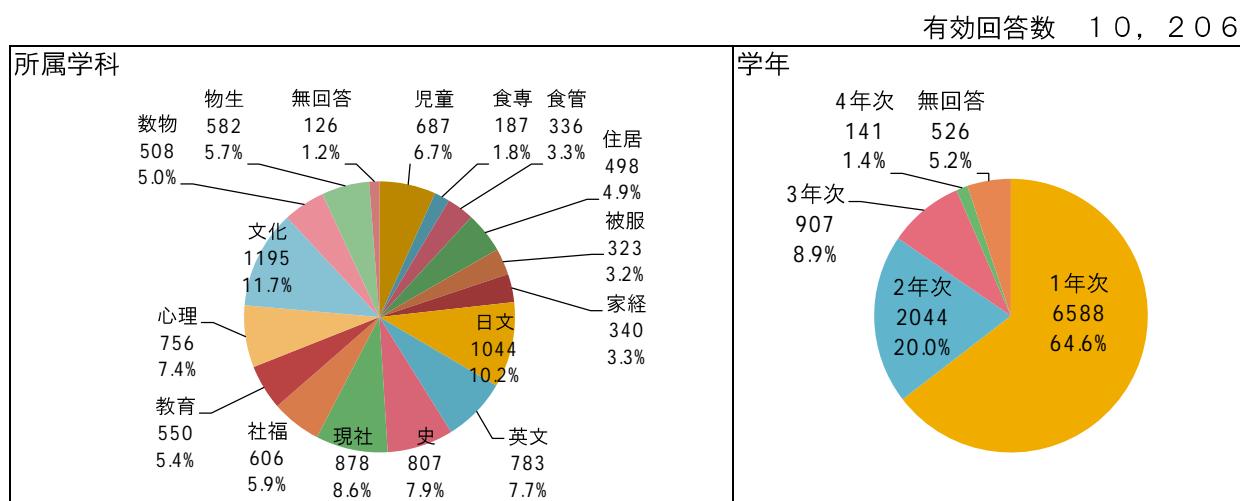
授業科目区別の結果…当該の授業を管轄する委員会に通知する。各委員会は学部F D 委員会へ所見を返す。

集計結果・学生へのコメント…学生向け掲示（JASMINE-Navi）にて公表。

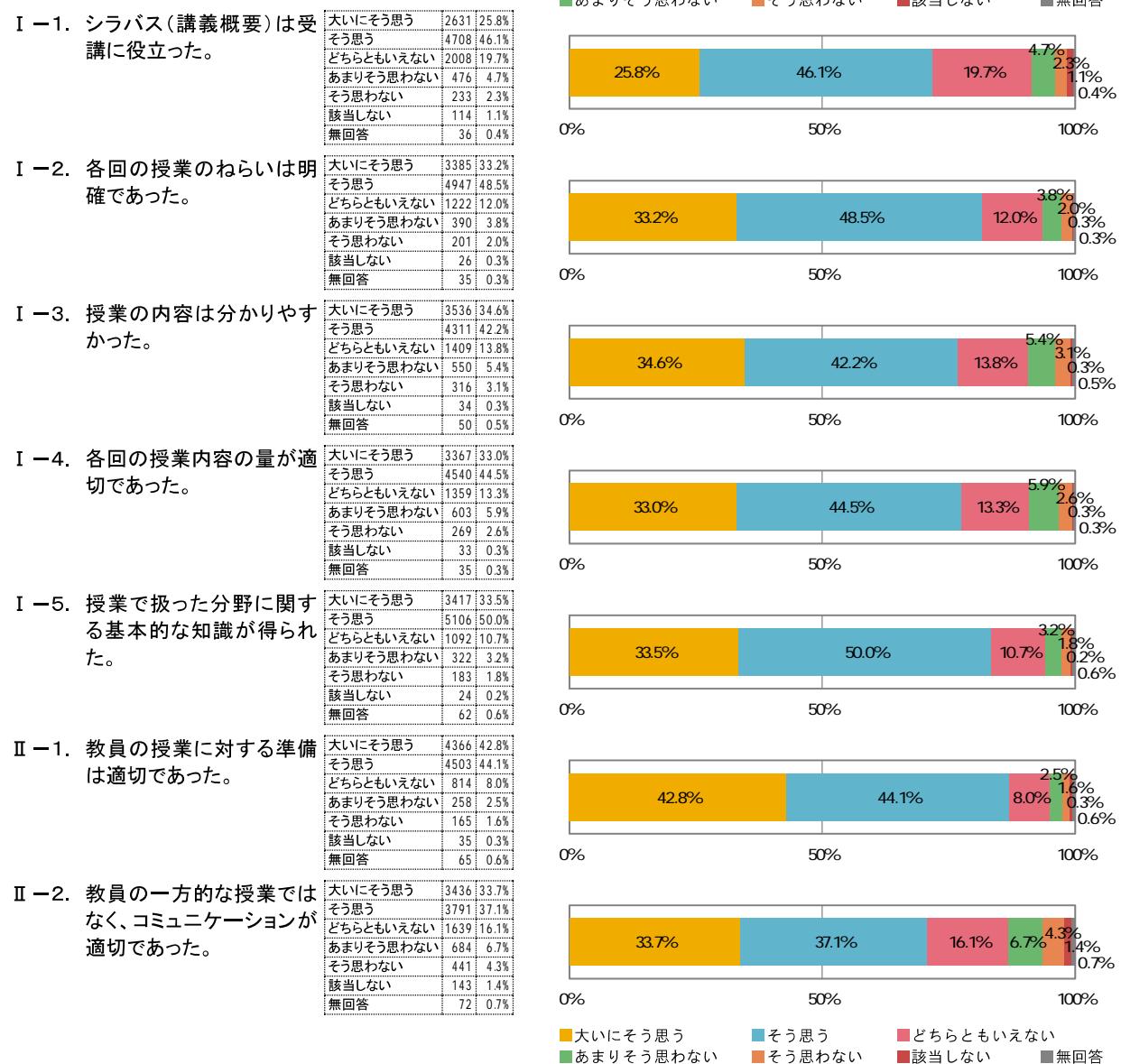
報告書…大学HP、教職員のページにて公表。

III. 集計結果（2017年度前期）

2017年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）

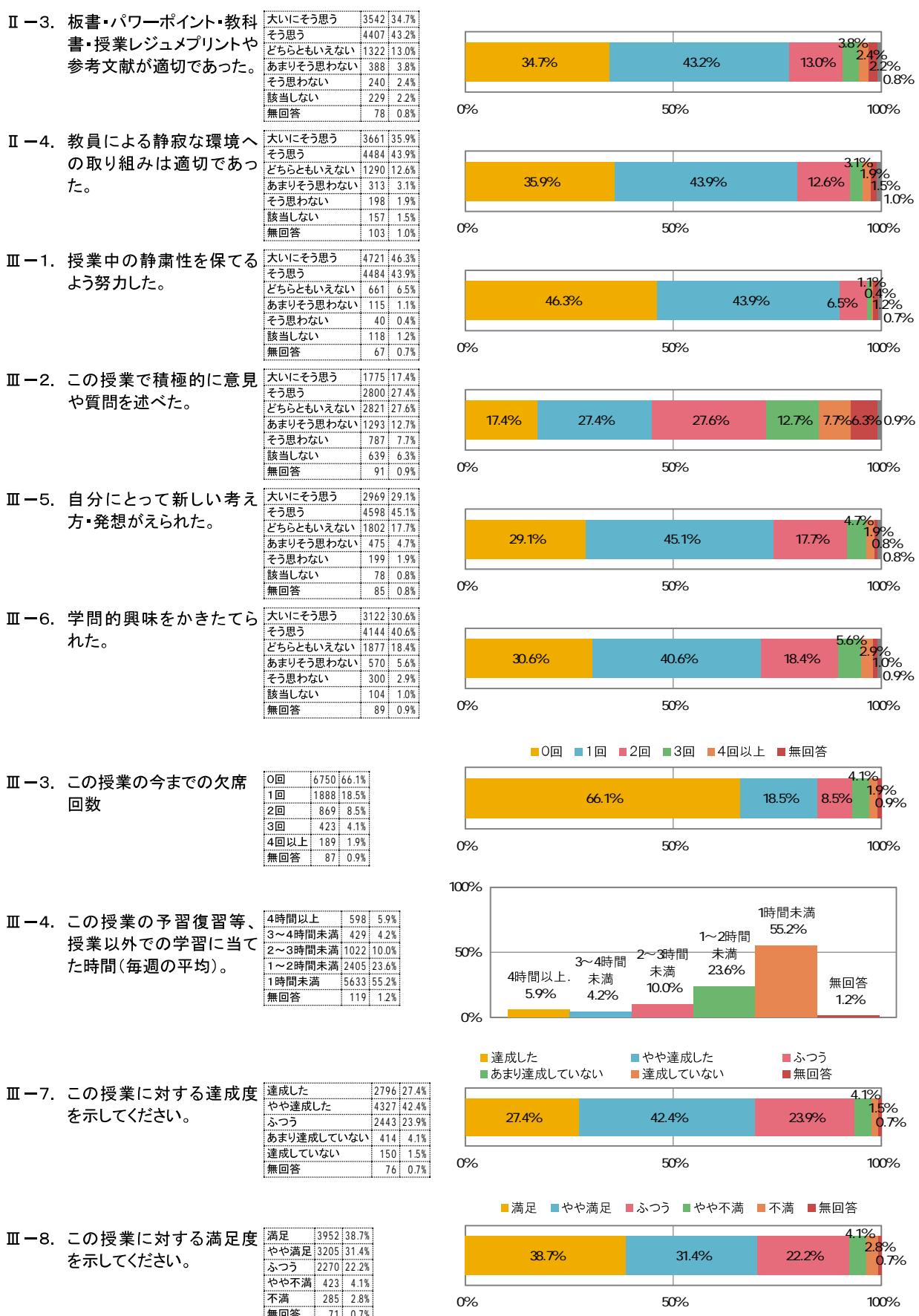


評価帯グラフ



学生と授業改善について考えるアンケート

2017年度前期



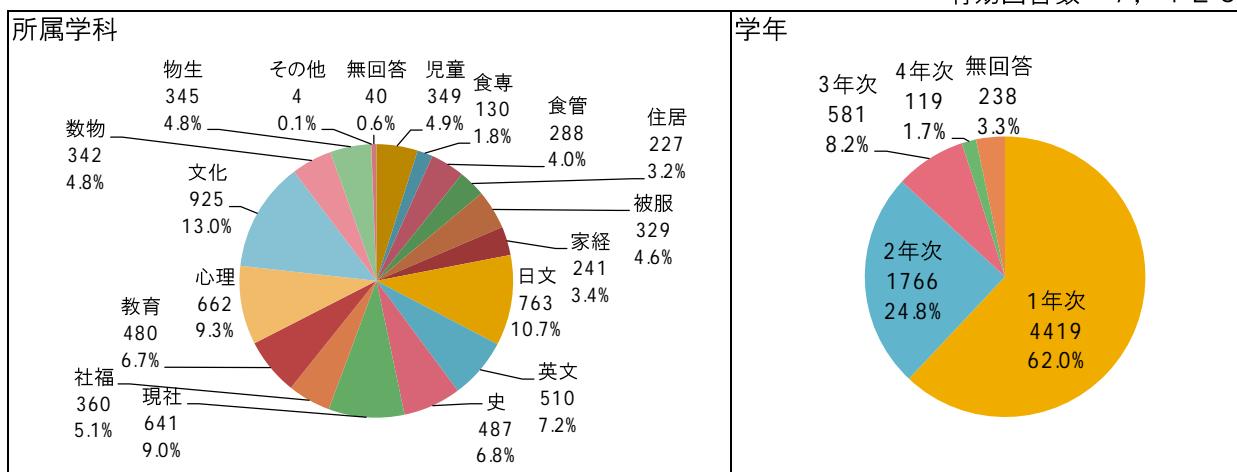
IV. 集計結果 (2017年度後期)

学生と授業改善について考えるアンケート

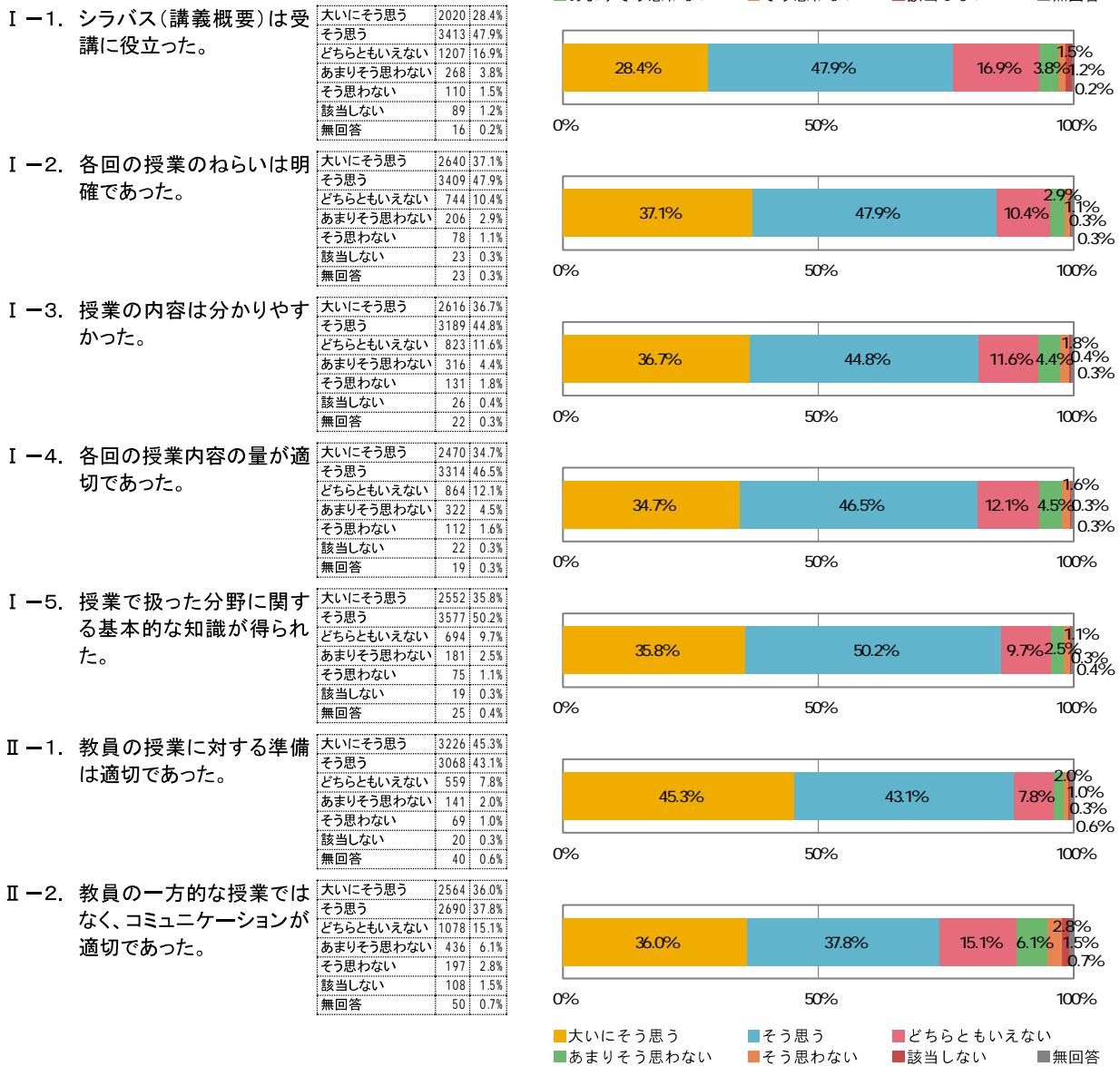
2017年度後期

2017年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）

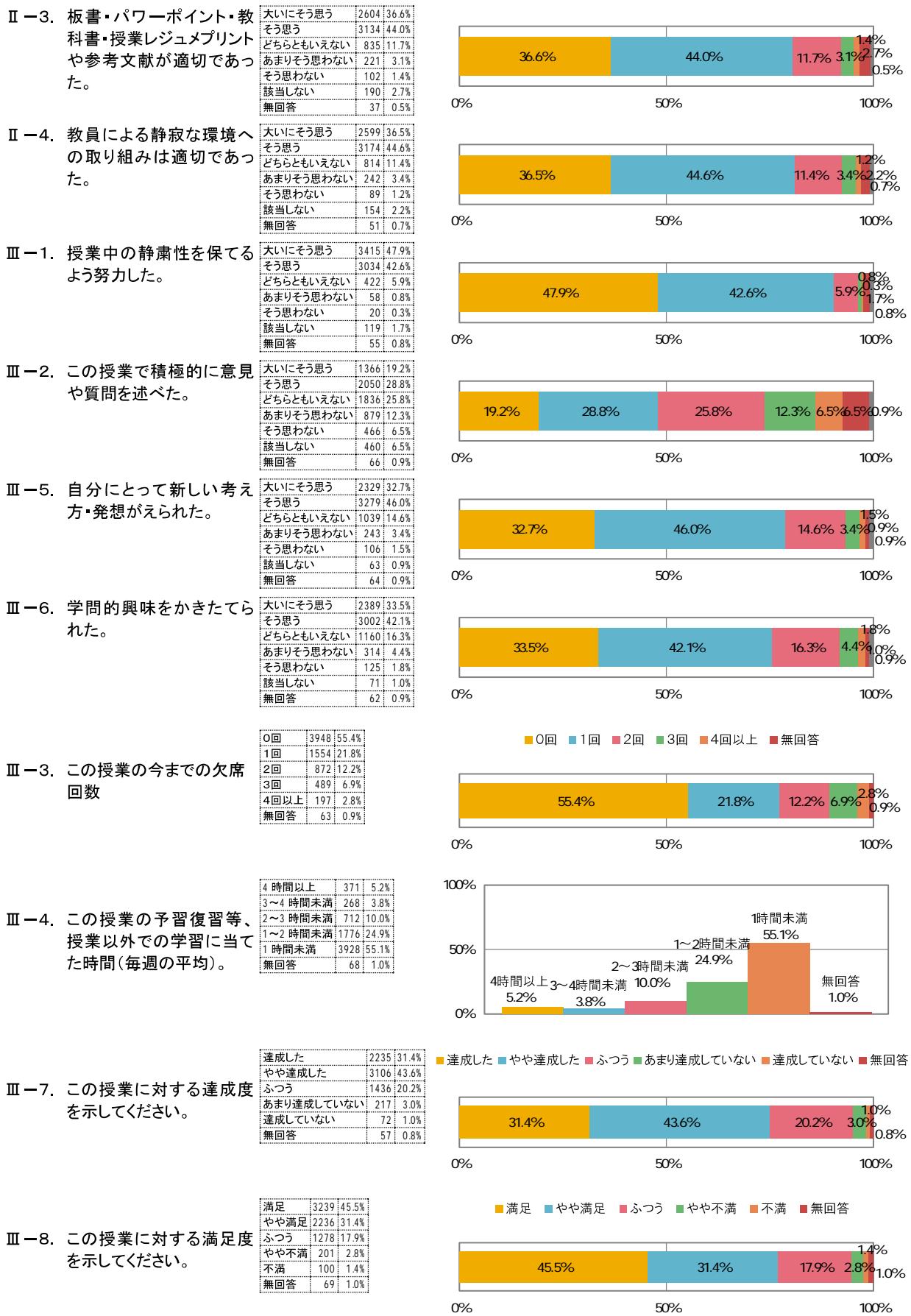
有効回答数 7,123



評価带グラフ



学生と授業改善について考えるアンケート
2017年度後期



2017年度

「学生と授業改善について考えるアンケート」報告書

発行

2018年7月

日本女子大学 学部F D委員会

〒112-8681

東京都文京区目白台2丁目8番1号

電話 03(5981)3275
